



平成28年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年4月22日

上場会社名 富士変速機株式会社 上場取引所 名
 コード番号 6295 URL http://www.fujihensokuki.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)河嶋 謙一
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)井本 明 (TEL)058(271)6521
 四半期報告書提出予定日 平成28年5月2日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年12月期第1四半期の業績(平成28年1月1日～平成28年3月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第1四半期	1,375	△8.7	44	99.1	49	54.1	31	114.1
27年12月期第1四半期	1,505	△0.9	22	△80.8	31	△73.9	14	△79.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第1四半期	1.88	—
27年12月期第1四半期	0.88	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年12月期第1四半期	10,891	9,435	86.6
27年12月期	11,202	9,564	85.4

(参考) 自己資本 28年12月期第1四半期 9,435百万円 27年12月期 9,564百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	3.00	—	3.00	6.00
28年12月期	—	—	—	—	—
28年12月期(予想)	—	3.00	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年12月期の業績予想(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,100	△1.4	10	△87.0	30	△68.8	10	△81.8	0.59
通期	6,500	0.1	240	20.0	260	15.6	150	12.8	8.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

28年12月期1Q	17,955,000株	27年12月期	17,955,000株
28年12月期1Q	1,039,340株	27年12月期	1,039,290株
28年12月期1Q	16,915,690株	27年12月期1Q	16,915,857株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の各種政策の効果により企業収益の改善が進むなか、雇用情勢や設備投資動向に持ち直しの動きが見られるなど、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

しかしながら、円高・株安等の金融市場の変動や、新興国の景気下振れリスク等により、景気の先行き不透明感が拭えない状況が続きました。

このような環境のもと、当社におきましては、生産体制の強化・見直しを継続的に取り組むとともに、顧客志向に立った製品開発、差別化した提案営業を推進し、いかなる事業環境の変化にも対応すべく更なる原価低減活動と生産性の向上に努めてまいりました。

減速機関連事業では、保有技術を活かした製品開発に取り組むとともに、特殊製品による成長分野への積極的な提案営業を行い、顧客満足度の向上と受注獲得に努めてまいりました。

駐車場装置関連事業では、マーケティングに基づく戦略的営業展開を図るとともに、コスト競争力の強化を推進し収益改善に努めてまいりました。

室内外装品関連事業では、生産・品質管理体制の強化を図り、受注獲得と安定した収益確保に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期累計期間の売上高は1,375百万円(前年同期比8.7%減)、営業利益は44百万円(前年同期比99.1%増)、経常利益は49百万円(前年同期比54.1%増)、四半期純利益は31百万円(前年同期比114.1%増)となりました。

なお、セグメントの業績は次のとおりです。

[減速機関連事業]

堅調な設備投資動向に支えられ、当社の強みである特殊減速機の受注は増加傾向で推移いたしましたが、前年同期における高効率ギヤードモータへの切替需要の反動等により、汎用減速機の受注が低調となり売上高は738百万円(前年同期比1.9%減)となりました。営業利益につきましては、継続的な原価低減活動に努めるとともに、特殊減速機の構成比率が増加したことで35百万円(前年同期比127.2%増)となりました。

[駐車場装置関連事業]

主力製品である「パズルタワー」や、電気改修部品の受注減少などにより、売上高は495百万円(前年同期比21.0%減)となりました。営業利益につきましては、引き続き、資材価格等の上昇傾向が続くなか、原価低減活動に取組み6百万円(前年同期比120.2%増)となりました。

[室内外装品関連事業]

品質管理の徹底と性能の向上に努めた結果、受注が増加し売上高は140百万円(前年同期比12.6%増)となりました。営業利益につきましては、コスト低減活動等による収益確保に努めましたが2百万円(前年同期比41.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

[資産]

当第1四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ311百万円減少し10,891百万円となりました。

流動資産は、仕掛金が23百万円、原材料及び貯蔵品が14百万円増加した一方で、現金及び預金が186百万円、受取手形及び売掛金が169百万円減少したことなどにより、前事業年度末に比べ152百万円減少し7,539百万円となりました。

固定資産は、繰延税金資産を含むその他の項目が38百万円増加した一方で、保有株式の株価下落により投資有価証券が160百万円、減価償却等により有形固定資産が32百万円減少したことなどにより、前事業年度末に比べ158百万円減少し3,351百万円となりました。

[負債]

当第1四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べ182百万円減少し1,455百万円となりました。

流動負債は、賞与引当金を含むその他の引当金が23百万円増加した一方で、支払手形及び買掛金が67百万円、未払法人税等が42百万円減少したことなどにより、前事業年度末に比べ159百万円減少し1,303百万円となりました。

固定負債は、退職給付引当金が14百万円増加した一方で、繰延税金負債の減少等によりその他の項目が29百万円減少したことなどにより、前事業年度末に比べ23百万円減少し152百万円となりました。

[純資産]

当第1四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ128百万円減少し9,435百万円となりました。

これはその他有価証券評価差額金が109百万円、利益剰余金が18百万円減少したことなどによるものであります。

なお、自己資本比率は前事業年度末に比べ1.2ポイント増加し86.6%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、雇用・所得環境の改善傾向が続くなかで、各種政策の効果もあり、景気は緩やかに回復していくことが期待されますが、依然として海外景気の下振れなど、景気を下押しするリスクが存在し、経営環境は予断を許さない状況が続くものと思われまます。

これらの状況を踏まえ、平成28年12月期の業績予想につきましては、現時点では平成28年2月4日に公表しました予想からは変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年12月31日)	当第1四半期会計期間 (平成28年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,840,486	3,653,962
受取手形及び売掛金	2,355,545	2,185,658
製品	31,913	39,553
仕掛品	524,152	548,041
未成工事支出金	138,778	140,030
原材料及び貯蔵品	495,628	510,526
その他	313,215	469,211
貸倒引当金	△7,740	△7,394
流動資産合計	7,691,980	7,539,590
固定資産		
有形固定資産		
建物	2,312,791	2,313,061
減価償却累計額	△1,717,632	△1,729,326
建物(純額)	595,158	583,735
機械及び装置	2,302,384	2,302,384
減価償却累計額	△1,995,840	△2,010,915
機械及び装置(純額)	306,544	291,469
土地	1,604,963	1,604,963
建設仮勘定	13,557	13,557
その他	988,102	986,044
減価償却累計額	△903,915	△907,499
その他(純額)	84,187	78,545
有形固定資産合計	2,604,412	2,572,271
無形固定資産	67,106	62,289
投資その他の資産		
投資有価証券	693,993	533,723
その他	144,726	183,229
投資その他の資産合計	838,719	716,953
固定資産合計	3,510,237	3,351,513
資産合計	11,202,218	10,891,103

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年12月31日)	当第1四半期会計期間 (平成28年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,006,535	938,713
未払法人税等	70,960	28,287
工事損失引当金	41,087	39,725
その他の引当金	78,944	101,965
その他	264,641	194,324
流動負債合計	1,462,170	1,303,016
固定負債		
退職給付引当金	87,608	102,531
役員退職慰労引当金	26,650	18,130
その他	61,420	31,987
固定負債合計	175,679	152,649
負債合計	1,637,849	1,455,666
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,507,500	2,507,500
資本剰余金	3,896,954	3,896,954
利益剰余金	3,254,980	3,235,993
自己株式	△197,819	△197,831
株主資本合計	9,461,615	9,442,616
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	102,752	△7,178
評価・換算差額等合計	102,752	△7,178
純資産合計	9,564,368	9,435,437
負債純資産合計	11,202,218	10,891,103

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)
売上高	1,505,560	1,375,256
売上原価	1,252,127	1,124,863
売上総利益	253,432	250,393
販売費及び一般管理費	231,311	206,341
営業利益	22,120	44,051
営業外収益		
受取利息	542	556
保険配当金	4,400	4,197
保険返戻金	4,622	-
その他	1,683	1,932
営業外収益合計	11,249	6,687
営業外費用		
売上割引	1,255	1,316
その他	209	265
営業外費用合計	1,464	1,581
経常利益	31,905	49,157
特別利益		
固定資産売却益	-	4
特別利益合計	-	4
特別損失		
固定資産除却損	-	0
特別損失合計	-	0
税引前四半期純利益	31,905	49,162
法人税、住民税及び事業税	4,670	21,572
法人税等調整額	12,403	△4,170
法人税等合計	17,073	17,402
四半期純利益	14,831	31,759

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期累計期間(自平成27年1月1日至平成27年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期損益 計算書計上額 (注)2
	減速機 関連事業	駐車場装置 関連事業	室内外装品 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	753,289	627,170	125,100	1,505,560	—	1,505,560
セグメント間の内部売上高 又は振替高	20,928	—	—	20,928	△20,928	—
計	774,217	627,170	125,100	1,526,488	△20,928	1,505,560
セグメント利益	15,502	3,058	3,560	22,120	—	22,120

(注)1. セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間(自平成28年1月1日至平成28年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期損益 計算書計上額 (注)2
	減速機 関連事業	駐車場装置 関連事業	室内外装品 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	738,975	495,376	140,904	1,375,256	—	1,375,256
セグメント間の内部売上高 又は振替高	18,033	—	—	18,033	△18,033	—
計	757,008	495,376	140,904	1,393,289	△18,033	1,375,256
セグメント利益	35,217	6,733	2,100	44,051	—	44,051

(注)1. セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。